研究計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 |  |
| 希望する研究指導教員名 |  |
| 入学後の研究主題 |  |

この研究計画書は博士後期課程における学修および研究を遂行するのに適しているかを判断するための資料となります。面接試験においては、主としてこの「研究計画書」に基づいて質疑が行われますので、下記の要領にそって作成して下さい。

研究計画書の作成要領

　・日本語または英語で作成する。

　・ワープロを用い、11ポイントの明朝体またはゴシック体フォントで作成する。

　・A4版（縦）用紙１枚あたり横書きで1600字（40字×40行）程度とする。

Ⅰ．これまでに取り組んだ（あるいは現在取り組んでいる）研究の概要

・①背景　②目的　③方法　④結果　⑤結論　を記入すること。修士論文に、現在取り組んでいるなど、結果や結論などの記入が難しい場合には、適宜その進捗状況を記入すること。

・①〜⑤の文字数は自由であるが、全体でA4判用紙１枚に収まるよう記入すること。

Ⅱ．現在考えている入学後の研究主題の内容

・①本研究の着想に至った経緯および「Ⅰ」に記入したこれまでの自己の研究との関連性　②研究のねらい（明らかにしたいこととその意義）　③国内外の先行研究との関連から見た特色・独自性　④入学後3年間の研究計画と方法を、適宜文献等を引用しながら記入すること。

・⑤引用文献には、本研究計画の立案のため①〜④で引用した主要な文献を３つ程度、その出典（主な著者名、論文名、掲載誌名、巻・頁、発表年）がわかるように記入すること。

・①〜⑤の文字数は自由であるが、全体でA4判用紙２枚に収まるよう記入すること。

Ⅲ．研究業績一覧

・志願者の研究業績を論文、著書、学会発表等に分けて、発表年が新しいものから記入すること。

・共同研究者がいる場合には、発表時の記載順の通りその氏名をすべて記入し、本人氏名の下にはアンダーラインを引くこと。

・主要なものを選んでA4判用紙１枚に収まるよう記入すること。

氏名

Ⅰ．これまでに取り組んだ（あるいは現在取り組んでいる）研究の概要

①背景

②目的

③方法

④結果

⑤結論

氏名

Ⅱ．現在考えている入学後の研究主題の内容

①本研究の着想に至った経緯およびこれまでの自己の研究との関連性

②研究のねらい（明らかにしたいこととその意義）

③国内外の先行研究との関連から見た特色・独自性

④入学後3年間の研究計画と方法

⑤引用文献（３つ程度）

氏名

氏名

Ⅲ．研究業績一覧